

第64回 高山市美術展覧会

今年で64回を数える高山市美術展覧会は10月19日に審査があり、応募総数328点の中から、入賞97点、入選210点が決まりました。みなさんお誘いあわせのうえご来場ください(入場無料です)。

【期日】 11月2日(土)～4日(月・休)
【時間】 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)
【場所】 市民文化会館(昭和町1)
【問合】 生涯学習課 ☎35-3155

市展賞(一般の部)



洋画「ほんもの」
吉本 有希さん



版画「桜の里」
山下 紘一さん



彫刻
「クラシック音楽」
ヒサオ・カメヤマさん



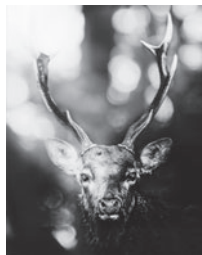
洋画「生命線」
古藤 日向さん



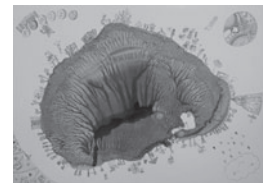
工芸
「紫苑のかおりー追憶」
清水 長子さん



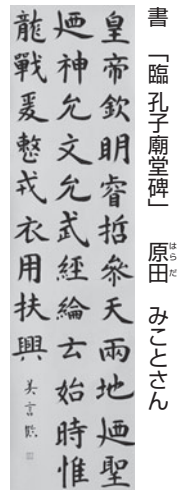
書
「臨石鼓文」
下畑 瑛泉さん



写真「暁闇の瞳」
白野 肇彦さん



Gデザイン
「みんなのことをかながえよう」
中山 みどりさん



書
「臨孔子廟堂碑」
原田 みことさん

クマ出没注意!!

【問合】 熊被害対策本部
(農務課内) ☎35-3141

今年はクマの主なエサであるドングリ類が不作で、冬眠前に栄養が必要なクマが人間の生活圏に大量出没しています。また、飢えたクマは冬眠できずに、来年の1～2月ごろまでエサを求めて行動範囲を広げて出没し続ける可能性もあります。

果実(柿や栗など)がなくなる今月以降は、民家に近づく危険性がさらに増しますので、今まで以上の注意と対策が必要です。引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



クマを寄せ付けないために

- ▶ 柿や栗の実をクマを呼び寄せるため、民家周辺の果実は採取する。作業にあたっては複数人で行い、事前に爆竹などの大きな音を鳴らして人の存在を知らせる。
- ▶ 家庭の生ごみもクマのエサになるので、収集日の朝にごみステーションへ出す。
- ▶ 野菜や果実の残りがすを田畑に放置しない。

無理な作業は禁物

- ▶ 人里離れた場所にある柿や栗の実を無理に採取しない。
- ▶ 農地での人身事故も多発しているため、農作業をするときも、音の出るものを携帯するなど注意をする。

命を守るために

- ▶ 鈴やラジオなど音の出るものを身につけ、夜間に一人で外出することは控える。
- ▶ クマの目撃情報を収集し、目撃情報が多い地域(山林、草むらなどは特に)に不要に入らない。
- ▶ 万が一、クマに出会った場合は
【クマが気づいていない場合】
 ⇒速やかにその場からあわてず離れる。
【クマがこちらに気づいた場合】
 ⇒背中を見せずにそのまま後ずさりし離れる。
【クマから攻撃を受けそうになった場合】
 ⇒特に顔や首などの急所を守る。

目撃情報は県ホームページ「クママップ」で確認できるほか、市メール配信サービス「安全安心」のメール受信で確認できます。

*登録は右のQRコードを読み込むことにより登録画面に進むことができます。

